

(県からの情報提供)

平成27年5月 日

各市町村災害廃棄物主管課長 様

神奈川県環境農政局環境部資源循環課長
(公 印 省 略)

平成27年度災害廃棄物処理に係る検討会の開催について (通知)

本県の廃棄物行政の推進につきましては、日頃格別の御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記のことについて、次のとおり開催しますので、お忙しいところ申し訳ありませんが、御担当者の出席について御配慮くださるようお願いいたします。

今回は、被災地の事例を直接お伺いできる機会であり、より多くの方に参加いただきたく、複数名での出席も可能としております(5名以上となる場合には、あらかじめご連絡ください)。

ついては、お手数ですが、別紙により5月20日(水)までに、電子メールにて出席者をお知らせくださるようお願いいたします。

- 1 日 時 平成27年5月28日(木) 10:00~11:30
- 2 場 所 神奈川県庁 新庁舎8階 議会大会議室(別添案内図参照)
- 3 議 題

(1) 仙台市における災害廃棄物処理事例紹介

講師：仙台市環境局廃棄物事業部長 遠藤 守也氏

(2) その他(県からの取組の説明など)

4 講師について

東日本大震災の発生後、平成23年5月から26年3月まで災害廃棄物処理業務の総括を担当されました。

平成26年9月に、全国レベルでの災害廃棄物処理対策を検討する「巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会(平成27年度に名称変更：大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会)」(環境省所管)委員に就任され、現在に至ります。

5 講演の趣旨について

仙台市では、東日本大震災で発生した膨大な量の災害廃棄物処理に当たって、すべて市内で処理する「自己完結型」を選択し、1年以内の解体撤去、3年以内の処理完了、50%以上のリサイクル推進を掲げ、周到な計画のもとに、目標を達成されました。

処理に当たっては、仙台市内分(136万トン)のガレキだけではなく、石巻ブロック分も引き受けるなど、全国から注目されている同市の取組について、本県が被災した場合における災害廃棄物処理の仕組みを検討するに当たっての参考となるよう、また、こうした情報を皆様と共有できるように講演いただくものです。

問い合わせ先

調整グループ 東出

電 話 (045)210-4149

メール higaside.s6qj@pref.kanagawa.jp